

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月21日(水)	試合番号	え	回戦	1
種別	男子	女子	会場	インカレ八王子・駒沢体育館	
Aチーム			Bチーム		
東京女子体育大学			香川銀行T・H		
得点合計	小計		小計	得点合計	
23	8	前半	12	25	
	13	後半	9		
	1	第1延長(前半)	1		
	1	第1延長(後半)	3		
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

梅澤 真人

四国ブロックを圧倒的な力で勝ち上がってきた香川銀行T・Hとインカレ準優勝の東京女子体育大学の名門チーム対決。

香川のスローオフで試合開始。香川13番荒木の強烈なロングシュートで先制。対する東女大は香川の固いDFを前にセットオフで流れを掴めず、逆に速攻を許してしまう。セットオフも機能していた香川は10分を終わり8-3とリードする。しかし10分過ぎから東女大のDFが機能し始め、香川は攻めあぐねる。その間に東女大9番三田のカットインなどでじわじわ追い上げる。ただ香川GK12番森村に要所のシュートをセーブされて流れに乗りきれない。中盤以降は両者とも固いDFで譲らず、12-8、香川リードで前半終了。

後半も前半と同じく互いのDF、両チームのGKの攻守で締まった展開になる。5分で13-10、15分で16-12と香川は突き放せない。すると粘っていた東女大にチャンスが到来する。24分から香川が相次いで退場者を出し、約4分間数的有利の状況になる。その間に着実に点差を詰め、27分のところで20-19の1点差まで詰め寄る。しかし29分に香川7番筑後のナイスカットインで2点差に。万事休したかに思ったがクイックリスタートで得点。さらに29分42秒でマイボールとすると53秒にタイムアウト。タイムアウト明け7人攻撃。残り1秒で東女大9番三田のミドルシュートが決まり劇的な同点劇に。21-21で延長戦へ。

22-22の同点で迎えた延長後半1分21秒、香川7番筑後が退場となり、東女大にチャンスが到来。しかしここで東女大は点を取れない。逆に香川は11番國方の素晴らしいシュートで得点。7人に戻った残り1分の場面。香川が素早い2回連続の手渡しパスから得点で勝負あり。25-23で香川銀行の勝利。

両者とも、固いDF・速い速攻・巧みなパスワーク・素晴らしい個人技と非常に見どころの多い試合であった。